

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・昨年が底だったのが今年の売上は各月上、来客数共に前年比で130%以上が続いており、180%という月も出てきている。景気は回復しつつあるが、客単価はいまだに低く、ガラスのように割れやすい不安定な状況である。
	やや良く なっている	スーパー（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べると販売促進費を多く使っていることもあり、今月は売上、来客数共に3%ほど伸びている。ただし、天候不順の影響もあり、青果物のみ平均値をかなり下回っている。
		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・3月と比べ、前年比での売上が8%ほど回復しているの、やや良くなっている。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・前年比でみると一番伸びたのは来客数で105%、低下傾向に歯止めの掛かった客単価は102%となっている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響もあり、薄型テレビの販売が台数ベースで前年比250%、金額ベースで170%と好調である。その他の家電製品はほぼ前年並みの102%となっている。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・夏物商品の販売は、前年を上回る実績となっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・ボーナス良かったのか、6月に入ってからフリーの来客数が増加してきている。昨年来フリー客が減少傾向であったので、久しぶりの増加でほっとしている。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・6月の半ばごろから夏休みの家族旅行の動きが出ている。特に、各社が早割りを使った商品を投入しているため、目ざとい客はメリットをいかして早めに計画し、早めに予約している。沖縄、北海道や家族4人で50万円以上という商品も順調に売れている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・6月に入ってから営業マンが結構来ており、昼間はそこそこ動いている。梅雨時期ということで夕方に雷雨があると、客がタクシーに乗る回数も増えており、前月に比べ5%くらい売上が増加している。
		通信会社（営業担当）	それ以外	・当社の販売量は横ばいだが、取次業務委託をしている量販店がデジタル対応テレビの拡販を始めている。サッカーワールドカップやその他、旬のスポーツ関係をフックにボーナス商戦が始まっていると思われるが、効果は期待できる。当社もこの波に乗りつつあるので意味7月は待ち遠しい。
その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・3月から続いていた前年比10%以上の減少に歯止めが掛かった。新車の乗り換えが減少し、もう少し今の車を直して乗るといった客が増え、5年以上使用している古い客が戻り始めたので前年度並みとなっている。		
変わらない		設計事務所（所長）	来客数の動き	・今月は、本当に久しぶりに結構いろいろな情報が入ってきて、今までとは少し違った空気を感じている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・市内に大手スーパーが新しくオープンした。前に入っていたディスカウントストアよりも集客力が上がった分、市街地の商店街に影響がでそうである。改正されたまちづくり三法施行をにらんだ駆け込み出店だろうが、更に来年度も大手メーカー工場跡地に同じ大手スーパーの出店が予定されている。人口が減少傾向にあるなか、ホームセンターなどはすでにオーバーストア状態にあり、市内の消費動向がどうなるか心配である。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月より駐車禁止が強化されて、商店は厳しい。店の者が客の手助けをしている状態であるが、駐車場のない店の売上は大分減っているようである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・地上デジタル放送開始に伴い、ボーナス商戦でテレビ等の買換えを見込んでいたが、客は結構慎重である。壊れたら買換える動向が強い。

	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・競合店が毎月増加しており、そのなかで古い店は閉店している。閉鎖店舗の跡にはより強力な店が出店してくるので、更に競争が激化している。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・天候にも左右された部分があるが、特に今月は衣料品の売上がかなり厳しい。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・雨天や日照不足により、果菜類、葉物野菜の相場が上昇し、買上点数が減少している。羽織り物以外の夏物衣料も不振である。第三のビールの増税は、店頭価格据置きのため前年比110%、たばこの増税による駆け込み特需は前年比350%となっている。
	コンビニ（店長）	お客様の様子	・7月1日からたばこが値上げされるということで、若干売上は伸びているが、客の様子をみると景気の悪い状態に慣れてしまっていて、今の景気が変わっていく雰囲気はない。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・7月1日のたばこの値上げで駆け込み需要があったので、売上は前年比96%とやや回復してきたが、来客数は前年比93%と依然として戻ってきていない。
	衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・中心市街地の歩行者、通行車両共に減少傾向が続いている。一方、外周道路に立地しているスーパー、デパートへの入込は相変わらず堅調である。
	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・商談数は以前より増えてきているが、比較的単価の安い物に集中しているので、利益の確保が思うようにできていない状況にある。
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・3か月前は決算月であり来客数も成約台数も平月よりは多かったが、その後は廉価な目玉車を設定して広告を出しても、前年より来客数が減少している。
	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・扇風機、網戸など、夏物商品の動きが鈍い。天候の影響でゴールデンウィーク以降、季節品は前年の数字を下回っている。
	スナック（経営者）	お客様の様子	・例年6月は結婚式や結婚式の二次会が結構入っていたが、今年はほとんどない。逆に、女性客だけの予約などは多くなっており、状況としては変わらない。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・6月は例年そこそこの入込を期待できる時期であるが、今年はかなり苦戦している。一般団体やツアー客を直前にうまく取り込めたので何とか形にはなったが、単価落ちは否めない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は、プロ野球等の特需がある一方、農繁期でタクシー需要が低迷しており、結果的には横ばいで推移している。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・6月初旬に大型スーパーが開店したので利用客が増加している。その影響と天候不順が重なり、前年同月比で4%の増収である。
	観光名所（職員）	お客様の様子	・新緑のシーズンであったが、天候不順などから連泊等の客の入込が思うように伸びず、ホテル、レストラン関係の売上は例年並みである。
	ゴルフ場（副支配人）	それ以外	・天候不順により来場者が伸び悩んでいる。また、経費、特に燃料費の高騰の影響がある。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・設計の依頼は建設業者からたまにある程度で、建築主直接の依頼がない。この現象は、従来とあまり変わらず推移している。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・2～3か月前と同様に来客数が減少しており、厳しい状況になりつつある。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・住宅ローンの金利上昇に伴い、客の動きがあるかと思っていたが、意外と動きは鈍い。全体的に小休止となっている。
やや悪くなっている	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・例年6月は梅の時期で、10キロ単位の箱買いする客が多く、単価も売上も結構上がるが、今月は改正道交法のせいで車の客が少ないのか、ここ数か月で今のところ一番悪い。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・来客数も落ち、売上も低迷している。客の購買意欲が薄れているようである。
	衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・6月に入ってから、客の動きがセール待ち、要するに下見の段階で、買物までには至っていない状況である。セールが始まるまでしばらくはこの状態が続く。

		家電量販店（店長）	販売量の動き	・高額なデジタル家電品の伸びが良いため、買上点数の低下に気付きがたい。買上点数、来客数が横ばいか下降気味になってきている。来客数は前年比で95%である。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・3か月前と比べ来客数が激減している。チラシをまいてもそれほど効果がなく、販売単価の低いものしか売れていない。
		その他専門店〔燃料〕（経営者）	販売量の動き	・単価の高騰により販売量が減少し、利益が激減している。
		その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	販売量の動き	・本格的なボーナス商戦を前に、例年なら6月中ごろから売上も伸びていたが今年は低調である。ほぼ新商品も出そろい、もう少し活気が出てもいいころである。
		高級レストラン（店長）	来客数の動き	・当店はオフィス街にあるため、今までランチタイムは比較的安定した集客があったが、ここ数か月はランチタイムの来客数が減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・市内の他のホテルは改装が進んでいるが、当ホテルは資本力の低下もあり、大々的な改装はなかなかできない状況である。客に分らないような少しずつの改装しかできないので危惧している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・近隣に1,000円の床屋ができ、学生、子どもなどがそちらに流れているようで、今まで来店していたがこのところ来ない客がいる。天候不順で客の足は止まっており、地方の小さな町ではボーナスの出る企業が減っている。売上を上げるのは相当厳しい。
	悪くなっている	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・ダイレクトメールによるセールを今月中旬に開催したが、思うような結果が出ず、前年比で来客数が12%減、売上は38%減である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・大型連休の後遺症かもしれないが、今月もタクシーを利用する人が少なく、売上が10%減少している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（営業統括）	受注価格や販売価格の動き	・低価格商品より1,000円前後の比較的値段の高い物の荷動きが良くなっている。
		食料品製造業（製造担当）	それ以外	・外的要因であった直接原材料の価格の原価がようやく3年ぐらい前の通常値に落ち着いてきたので、これからはこのことだけでも確実に利益につながるが、今までのマイナスをいかに埋めていかにかかっている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・住宅ローンについて、金利の先高感等から買い控え層が動き出した面もみられ、一般住宅の需要の高まりで着工戸数がやや上向き加減である。一方、マイカーローンの需要は前年を下回っている状況である。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度から3か月間の広告受注額は、年度末から比べると10%は増加している。特に、新規プライダル施設のオープンや、既存店のリニューアルがけん引している。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月同様、引き合いも活発に推移し、受注量、システム開発量共に増加している。情報化投資は増加傾向にある。
変わらない		一般機械器具製造業（生産管理担当）	取引先の様子	・6月に取引先数社で生産説明会が開催されたが、各社共に悪くなる話は出ていない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・在庫調整のため生産ストップとなっていた取引先が7月より生産再開となったが、従来の半分の量で、本格的な生産までは至っていない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注が増えている割に、利益が出ない状況が続いている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず上向いてこない。展示会をしても目標値を上回ることができない。問屋筋、小売店共に新しいサンプルを欲しがっているが、地金の高騰、売上不振の影響もあり、あまり積極的に商品作りができない。

		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・長雨による天候不順のため、季節家電、飲料水、レジャー用品等の輸送量が前年に比べ大幅に落ち込んでいる。7月からのパルプ製品値上げにより、その部分の輸送量は増加している。円安による原油高のあおりを受け、厳しい状況は続いている。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・商業、サービス業からのスポットコマースは増えてきているが、官公庁からのタイムコマースが前月同様3%程度落ち込んでいる。停滞していたイベント受注は回復基調にある。
やや悪くなっている		不動産業（経営者）	それ以外	・既存の契約は、料金がそのままにもかかわらず、以前より依頼業務が増えており、厳しい要求も増えてきている。新規契約の料金は以前より低い額が提示され、それをのまざるを得ない状況である。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・来月から既存テナントが賃貸面積を増床することが決定し、その工事が始まったが、4月に撤退したファーストフード店の影響で、全体の収益は良くない。
悪くなっている		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新製品になり、価格も上がったので予想はしていたのだが、4、5月と赤字で、6月も赤字になるかもしれないという状況で、なかなか厳しい。もう少し我慢である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は2004年8月以来の最悪な売上で、6月もそれに匹敵するくらい悪く、5～6月の売上は通常月の約6割しかない。4年ぶりのひどい数字で景気の冷え込みを実感している。良いのは都心の大手企業のみである。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・地方都市では公共工事削減の影響は大きい。受注減を民間でと考えると地方企業の設備投資はなく、大手企業の場合、本社対応なので地方業者の受注は難しい。今期8か月を経過したが、受注額は前年の74%、安値受注も多く、大変厳しい状況である。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数は活発な動きをみせている。定着してきているのか求職者数の動きは少ない。電子、自動車関連では求人の動きがみられないが、電機、医療、住宅はやや活発である。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・周辺観光地の宿泊施設等の掃除を請け負っているが、ここ何か月前年比で稼働率が若干上がってきている。受注額は値引きか据置きだが、取引先にはある程度客が戻ってきている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人数が増加している。これから夏季に入り、特にサービス業のパート、アルバイト募集が多くなり、求人数は更に増加する。
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・現在7月の依頼を受けているところだが、各地区共に今までになく依頼が少なくなっている。なかなか広告を出しても人が集まらないとも聞いていたが、今までたくさん出していたところも人が動かないのか、依頼が減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数が前年同月比23%と大幅に増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は前年同月比2けたの増加となっているが、その内容は派遣求人が2割強を占めるなど、依然として正社員の求人状況は厳しい。
民間職業紹介機関（経営者）		求人数の動き	・求人に影響が大きい大手製造業では、3月決算数字に左右され、社員採用について積極的なところもあれば、採用減少、全面凍結といったところもあり、まだ模様様の様相を呈している。中堅、中小企業は採用に積極的な会社が目立っているため、全体としては大きな変化はない。	
やや悪くなっている	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業の採用活動の早まりを受け、早い段階から内々定がはじめていたが、ここにきて一段落してしまっている。一部企業の採用活動は継続しているが、一時期に比べ求人等の直接的な問い合わせが減少している。	
悪くなっている	-	-	-	